



リビアのアルバグダーディ教育担当書記
(左)と握手する塩谷文科相＝文科省

塩谷文科相は「ようこそ日本へ、そして文科省へ」と歓迎した上で「日本は資源のない島国で、人材こそが資源。両国の

塩谷立文部科学相（自民、衆院静岡8区）は8日、リビア共和国のアブドゥルガデーデル・アルバグダーディ教育担当書記（教育相）と文科省で会談し、教育や科学技術分野で人的交流を深めることを確認した。

塩谷文科相 リビア教育相と会談

P475-5
人的交流進展を確認

交流が非常に重要だ」と述べ、人的交流を進める考えを示した。これに対しアルバグダーディ書記は「リビアも人材・技術開発を重視している。日本との協力を進めたい」と応じた。

アルバグダーディ書記は、都内で同日開かれた「日本アフリカ科学技術大臣会合」や、科学技術振興を目的とした「ST Sフォーラム」出席のため来日した。